

平成 28 年 10 月 21 日

クレジットの需給量推計結果について(速報)

1 算定について

- 今年 8 月に実施したアンケートで判明した事業者の最新の意向をもとに、クレジットの販売意向を集計
- クレジット需要量については、平成 26 年度の排出実績が継続するとして算出（今年度 5 月の排出量取引セミナー&マッチングフェアで公表した需給量推計で使用するデータと同じ）

2 推計結果（前回との比較）

(1) 第二計画期間

太枠部分が今回の新たな集計数値

単位：万 t-CO₂

項目	説明	見込量
クレジットの 需要見込量	第二計画期間の義務履行に際してクレジットの購入等が必要となる量	約 95～100
第一期からのバンキング見込量※	第一計画期間に義務充当されずにバンキングされる量 (うち、第二期自己利用量)	約 995～1000 (約 20)
超過削減量発行 見込量	第二計画期間に新たに発生する超過削減量	約 720
超過削減量の供給 見込量	8 月のアンケート調査に回答のあった事業所のうち、取引の可能性があると回答した事業所の所有する全超過削減量の見込量 (うち、積極的な販売意向のある量)	約 292 (約 96)
失効する第一期クレジット 見込量	有効期限経過により失効する第一計画期間のクレジット量	約 875～885

※事前申請されたオフセットクレジット量及び発行済みの再エネクレジット（その他削減量）量を含む。

(2)超過削減量の販売意向

単位：万 t-CO₂

意向 時期	積極的 販売	要請が あれば	価格 次第	未定	販売する 意向はな い	その他
今年度中に販売したい	44	23	26	583	64	39
来年度以降、第二計画期間中 (平成 29 年度～平成 31 年度) に販売したい	35	104	7			
第二計画期間の整理期間中 (平成 32 年度～平成 33 年 9 月 末)に販売したい	17	26	10			
未定	50	145	39			
総計	146	298	82	583	64	39



8月のアンケート調査に回答のあった事業所のうち、取引の可能性があると回答した事業所の所有する全超過削減量の見込量 (292 万 t-CO₂)



第二計画期間（整理期間含む）中に積極的に販売するとされた量 96 万 t-CO₂